

ボランティアセンターだより

鴻巣市社会福祉協議会ボランティアセンター

TEL 597-2100

第251号

社協 HP は
こちら

鴻巣市箕田 4211-1

鴻巣市総合福祉センター内

FAX 597-2102

令和4年 9月発行

いつでも・どこでも・誰でも

そして楽しく



⑮だんの ㊦らしの ㊧あわせ を広めよう 地域で 広まる ボランティア活動



今年も感染予防対策を講じた方法として展示形式での開催となりました。

ボランティアグループの皆さんが作成した模造紙は、写真やイラストを使い、資料なども用意いただくなど、日頃の活動の様子を来場された方々に伝えたい思いが詰まったものになっていました。

今年は、土・日曜日ご来場の方限定企画で、アンケートにご協力いただくとお花のプレゼントをおこない、ボランティア活動を広めながら、みなさんに“㊧あわせ”をおすすめできました。会場デコレーションは、バルーンアート夢ふうせんの皆さんにご協力いただき、色鮮やかな会場となりました。

ドキドキと わくわくと 笑顔の 夏のボランティア体験プログラム

今年は5つのメニューを企画し、小学生から専門学生を中心に、多くの方にご参加いただきました。

1人で申し込まれたお子さんも、始めは緊張した表情でしたが、同じ目的で参加した『仲間』との出会いがあり、おしゃべりしながら笑顔へと変わっていく様子も嬉しく感じました。

感想には、「だれかの手助けをしたい」「また参加したい」など、ボランティア活動がより身近なものに感じてくれたようでした。体験したこと以外でも、普段の生活、学校や部活動などで経験していることが、ボランティア活動に繋がることを知ってもらい、今後活動を広げていってもらえたらと思います。

今回ご協力いただきました、サスナー会の皆さん、ボランティアグループわらべの皆さん、ポッチャサポーターの皆さん、個人ボランティアの小泉さん、こうのすナーシングホーム共生園の皆さん、ありがとうございました。



わたしたち “ボッチャサポーター” です



(左) 中泉さん (中央) 山本さん (右) 鈴木さん



おとな大学ボランティア学科卒業生を対象におこないましたフォローアップ講座を受講されたお三方。世界障がい者スポーツ大会で注目を集めた、障がい者スポーツ“ボッチャ”について、フォローアップ講座で学び、ボッチャ普及のためのサポーターになっていただきました。

サポーターになって初めての活動となったのは、「夏のボランティア体験プログラム」です。準備では、参加者にボッチャを知ってもらうため、道具やボールの投げ方、ルールなど、分かりやすく伝えるにはどうしようかと皆さんで考えていただきました。そして、当日はミニゲームの審判員にもなっていたいただき、子ども達は楽しみながらボッチャについて学ぶことができました。

今後も、誰でも一緒に楽しめるスポーツとして、地域の皆さんが“ボッチャ”を体験できる機会を増やしていけたらいいと思っています。

今後のボッチャサポーターの活動を応援してください。

～ボッチャサポーターのみなさんから～

一緒に活動する仲間が増えるとうれしいな～♪

難しく思わず、まずやってみると楽しいですよ！

是非、一緒に“ボッチャ”を広めていきましょう！

募集中!



～高齢者・障がい者のサービス事業所様へ～ ボランティアグループを紹介しています

新型コロナウイルスとの生活が始まり3年目になりました。

まだまだ感染の波が止まらない状況が続いていますが、現在のボランティアグループの様子を見ますと、活動を再開し、定例会や練習、事業開催など、活気が戻ってきているように感じます。

また、最近は高齢者施設を訪問してきたボランティアグループより、中断している施設での活動再開のご相談や新たな事業所からの依頼にも前向きなお返事をいただくことが多くなりました。

そこで、ボランティアセンターでは、ボランティアグループの受け入れを検討されている事業所様や、ボランティアグループの新たな活動先としてご協力いただける事業所様からのご相談をお受けしております。お気軽にお問合せください。



問合せ先

鴻巣市社会福祉協議会・鴻巣市ボランティアセンター

鴻巣市箕田4211-1

電話:048-597-2100 FAX:048-597-2102